

## 事業の概要

- 統合補助金事業により、地域の実情に応じた柔軟な事業運営を行う。
- 例えば、生活困窮者の自立促進のための生活困窮世帯の子供に対し、居場所づくりを含む学習支援の実施、養育相談や学び直しの機会の提供、「貧困の連鎖」の防止の取組や中間的就労事業の立ち上げ支援など育成支援等を行う。

## 支援のイメージ(現行の学習支援に関する取組例)

生活保護世帯の子供を含む生活困窮世帯の子供に対する学習支援事業を実施。各自治体が地域の実情に応じ、創意工夫をこらし実施ができるものとする。

平成26年度においては、184自治体において生活保護受給世帯等の子供及びその保護者に対し、以下の取組を実施。

- 進路相談、中退防止のための支援を含む学習支援
  - ・学習教室においてボランティアによるマンツーマンの学習支援
  - ・家庭訪問による進学への助言、養育支援
- 居場所の提供
  - ・日常生活習慣の形成・社会性の育成のための支援



## 相模原市 の学習支援事業の取組例

### 【若者すだち支援事業】(学習教室の例)

生活保護受給世帯等の主に中学生を対象に、学習教室を開催。元中学校教員をコーディネータとして配置し、大学生ボランティアがマンツーマンで支援。毎回担当ケースワーカーも参加。

教室と併せ、夏合宿、クリスマス会、いも掘りなどのイベントも開催。

【実績】平成25年度は市内5か所で開催。生活保護受給世帯の中学生中学3年生の対象者162人のうち、46人が参加。うち44人(96%)が高校へ進学。



## 高知市 の学習支援事業の取組例

### 【高知チャレンジ塾】

福祉部局と教育委員会が連携し、生活保護受給世帯の中学生を対象とした学習支援を実施。

市が雇用した就学促進員が定期的に家庭訪問し、保護者へ事業参加への働きかけ等を行うとともに、民間団体に委託して、教員OB・大学生などの学習支援員が週2回程度、市内5カ所で学習支援を実施。

【実績】平成25年度は生活保護受給世帯の中学生271人が参加。中学3年生55人のうちすべてが高校へ進学。

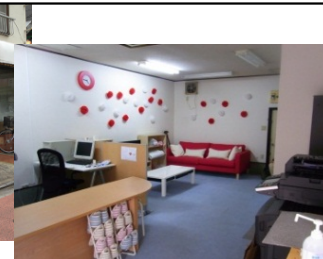
### 【若者自立サポート】(居場所づくりの例)

生活保護受給世帯等の高校生、高校中退者等を対象に、居場所を確保。相談支援、学習支援や学び直し、商店街等との協働によるボランティアが活動などへの参加により、幅広い生活自立支援を行う。

【実績】平成26年度は市内4か所で居場所(拠点)を確保。



居場所piece



商店街での清掃ボランティア